

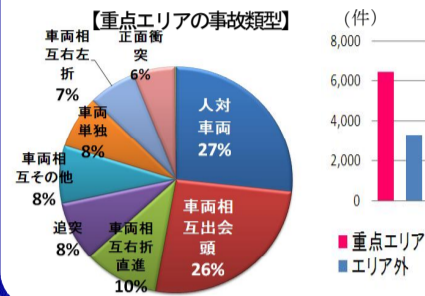
宮城県警察速度管理指針

宮城県警察における総合的な速度管理の必要性

本県においては、下記のとおり、車両の走行速度の低下、特に重点エリアにおける速度低下が重大交通事故の抑止に結びつくと考えられ、更に交通事故死者を減少させるためには、重点エリアを中心とした適切な最高速度規制、指導取締り、安全教育等の実施など総合的な速度管理が求められる。

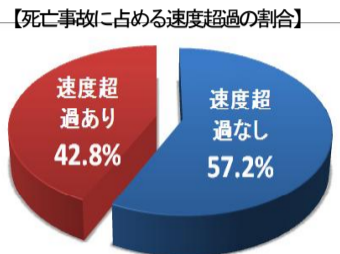
重点エリアの交通事故

重点エリアは県内における重大事故の66.5%を占めており、歩行者の事故や車両相互の出会い頭事故等が多発している。



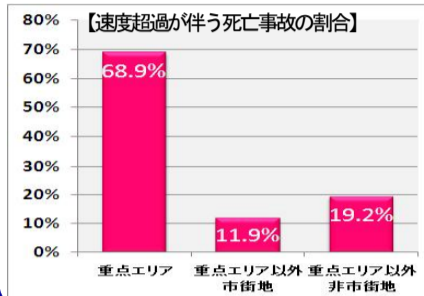
死亡事故での速度超過の有無

過去5年間の全死亡事故353件のうち、速度超過が伴う事故は151件(42.8%)である。



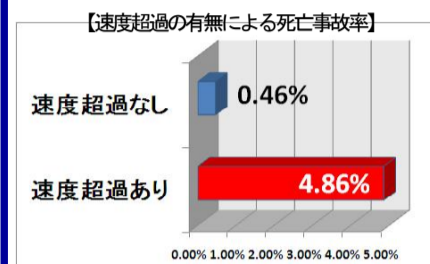
エリア別速度超過の状況

過去5年間の速度超過が伴う死亡事故が最も多いのは、重点エリアである。



規制速度の遵守による被害の軽減

過去5年間の規制速度の超過がある交通事故は、規制速度の超過がない交通事故に比べて、死亡事故となる確率が約10倍となっている。



宮城県警察における総合的な速度管理の内容

| | 重点エリア | | 重点エリア以外 | |
|---|---|--|---|------|
| | 警察力の集中投入! | | 市街地 | 非市街地 |
| 分道 分類路 ごとの 地域 標等 の 特性 に応じ た | <p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故(死亡・重傷事故)が集中し、重点エリア以外と比較して重大事故の発生件数が約2倍に達している。 幹線道路の主要交差点での事故が集中している。 歩行者との衝突事故、車両同士の出会い頭の衝突事故が多い。 県下の速度超過を原因・誘因とした死亡事故の68.9%を占めている。 昼間の死亡事故が全体の約6割を占めている。 <p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 幹線道路の速度規制見直しの継続と速度抑制の徹底 市街地や生活道路における速度遵守と速度抑制対策の推進 事故多発地点における速度抑制対策の推進 事故実態に応じた速度取締りの実施 速度抑制に向けた体験型の交通安全教育、広報啓発活動の推進 道路管理者と連携した道路環境整備による速度抑制対策の推進 | | <p>(特徴)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県下の速度超過を原因・誘因とした死亡事故の11.9%を占めている。 夕方及び夜間の死亡事故が多い。 人対車両の事故が多い。 道路幅員が狭い生活道路等を通って交通が利用している実態がある。 歩行者と自転車が混在するなど道路交通が輻輳している。 <p>(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通環境に応じた速度規制見直しの継続と速度抑制の徹底 生活道路における速度遵守と速度抑制対策の推進 事故実態に応じた速度取締りの実施 速度遵守に向けた安全教育・広報啓発活動の推進 道路管理者と連携した道路環境整備による速度抑制対策の推進 | |
| 分類 ごとの 施策 | <p>交通事故実態や実勢速度に応じた速度規制の見直し等の推進</p> <p>自治体、町内会等との協働及びマスコミ等の連携による速度抑制に向けた広報啓発活動の強化</p> <p>道路管理者と連携によるハンプ設置、グルーピング舗装等による速度抑制対策の推進</p> <p>生活道路における「ゾーン30」及び「通学路対策」等の推進</p> | | | |
| 具 体的 な 路 線 ・ 地 域 等 | <ul style="list-style-type: none"> 重点エリアとして設定した地域の例は下記のとおり (中央ブロック) 仙台市中心部、長町、泉中央地区等32箇所 (沿岸ブロック) 石巻、気仙沼、佐沼地区等23箇所 (仙北ブロック) 古川、小牛田、若柳地区等28箇所 (仙南ブロック) 大河原、白石、角田地区等17箇所 | | <ul style="list-style-type: none"> 重点エリアを除く、主として商業地域、住宅街等、歩行者及び車両の往来が多い市街地 <p>市街地 道路に沿って概ね500m以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80%以上の形態をなしている地域をいう。</p> | |

※ 重点エリアとは、過去10年間の交通事故発生箇所を分析の上、活動重点地区として設定したもの。